

平成29年度 文教委員会資料③

【議案第143号】

東海道かわさき宿交流館の指定管理者の指定について

参考資料

管理を行わせる公の施設の概要等

市 民 文 化 局

(平成29年11月22日)

議案第143号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	東海道かわさき宿交流館
(2) 所在地	川崎市川崎区本町1丁目8番地4
(3) 設置条例	東海道かわさき宿交流館条例
(4) 設置目的	東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の文化の振興に寄与するため、東海道かわさき宿交流館を設置する。
(5) 施設の事業内容	(1)東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行うこと。 (2)東海道川崎宿に関する情報の収集及び提供に関すること。 (3)東海道川崎宿に関する活動の支援に関すること。 (4)施設及び設備を利用に供すること。 (5)その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
(6) 現在の管理者	川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ 代表者：公益財団法人川崎市文化財団 構成員：一般社団法人川崎市観光協会
(7) 現在の管理運営費	38,853千円（平成26年度～29年度の平均年額） ※平成25年10月開館

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ 代表者：公益財団法人川崎市文化財団 構成員：一般社団法人川崎市観光協会
所 在 地	川崎市川崎区駅前本町12番地1

(1) 代表者

名 称	公益財団法人川崎市文化財団						
所 在 地	川崎区駅前本町12番地1						
代表者名	理事長 多田 昭彦						
設立年月	昭和60年3月23日						
基本財産	3,000万円						
職 員 数	41名						
設立目的	市民の文化芸術活動の振興を図り、もって川崎市における文化芸術の創造を促進し、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりに寄与することを目的とする。						
事業概要 (28年度)	(1) ミューザ川崎シンフォニーホール指定管理者 (2) 川崎市アートセンター指定管理者 (3) 東海道かわさき宿交流館指定管理者 (4) 川崎能楽堂の管理運営 (5) ラゾーナ川崎プラザソルの管理運営 (6) 新百合トウェンティワンホールの管理運営						
決 算 (28年度)	<table> <tr> <td>総収入</td> <td>1,962,917千円</td> </tr> <tr> <td>総支出</td> <td>1,905,932千円</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>56,985千円</td> </tr> </table>	総収入	1,962,917千円	総支出	1,905,932千円	当期損益	56,985千円
総収入	1,962,917千円						
総支出	1,905,932千円						
当期損益	56,985千円						

(2) 構成員

名 称	一般社団法人川崎市観光協会						
所 在 地	川崎市幸区堀川町66-20						
代 表 者 名	会長 齋藤 文夫						
設 立 年 月	平成23年4月1日						
基 本 財 産	なし						
従 業 員 数	8名						
設 立 目 的	川崎市の観光宣伝及び観光客の誘致並びに観光客に対する情報提供を行うとともに、市内各地区観光協会及び観光関連事業者と密接な連携を図ることにより、観光事業の健全な発展を促進し、もって川崎市の地域経済の振興及び文化の発展・向上に寄与することを目的とする。						
事 業 概 要 (28年度)	(1) 川崎市制記念多摩川花火大会の開催 (2) 産業観光の実施 (3) 川崎市観光案内所の運営受託 (4) 川崎市公式観光ガイドブック「川崎日和り」の作成 (5) 「かわさき名産品認定事業」への参加						
決 算 (28年度)	<table> <tr> <td>総収入</td> <td>134,361千円</td> </tr> <tr> <td>総支出</td> <td>137,586千円</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>-3,225千円</td> </tr> </table>	総収入	134,361千円	総支出	137,586千円	当期損益	-3,225千円
総収入	134,361千円						
総支出	137,586千円						
当期損益	-3,225千円						

3 指定期間

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

項 目	事業内容
管理運営に係る基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海道川崎宿を中心とする歴史・文化の発信と、出会いと交流による喜びと安らぎの場の提供によって、利用者と地域から親しまれ信頼される「東海道かわさき宿交流館」を実現し、「かわさき文化観光都市づくり」に貢献する。
東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示（常設展示）の実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通じて、東海道川崎宿の歴史や文化を学べる映像資料や模型等の展示を実施する。 ・ 館の魅力を高め、リピーター確保につながるような既存の機器の集約化、多機能化等の検討を行い、新たな展示機器を追加する。 ・ 地域の歴史をよく知り、郷土愛に満ちたボランティアガイド（NPOかわさき歴史ガイド協会会員）による案内を行う。 ・ 聴覚障害者への情報提供、短時間滞在者のニーズに対応できる展示補足資料を提供する。 ・ 3カ国語（英語、中国語、韓国・朝鮮語）による展示補足資料を提供する。
企画展示の実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ （公社）川崎・砂子の里資料館との連携による浮世絵展をはじめ、川崎の風景の変遷を伝える写真展、地域の歴史や文化活動等に係る展示等、地域人材と連携した企画展の強化を図る。

<p>その他施設の目的を達成するために必要な事業（文化イベント等）の実施方法等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸時代の粋に遊ぶ」をはじめ、「街道講演会」「お昼の落語」「講談で交流」等、シリーズ化しているイベントは当面継続し、必要に応じて見直しを行う。 ・芸能鑑賞に加えて体験等の楽しみがある公演イベントを企画する。
<p>地域・市民等との連携及び東海道川崎宿に関する活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示や文化イベントを通じて、地域の歴史研究者や文化芸能活動者、各種技能継承者等地域の多彩な人材資源をつなぎ、地域の歴史や文化の学びと発表の場を提供し、学びを通じた「知縁」による新たな絆づくりを支援する。 ・地域住民と交流し、密接な意思疎通を図るため、地域住民等の代表者からなる運営委員会を運営し、管理運営状況を報告するとともに意見を聴取する。 ・川崎宿起立400年を迎える2023年に向け、地域活性化が期待されることから、地域住民による東海道を活かした地域活性化事業に関わることにより情報共有し、地域活動との協力体制を築いていく。 ・来館者案内を行っている「かわさき歴史ガイド協会」の活動を支えるため、「かわさき歴史ガイド養成講座」を開催する。 ・市民の文化活動支援につながるような集会室利用者に、必要な道具類を貸し出すなどの支援を行う。 ・小学校等による校外学習、中学校等によるグループ学習、中学生・高校生による職場体験の受入れ等を行う。

6 収支計画

(単位：千円)

項目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					
	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
収入	46,307	46,407	46,508	46,609	46,712	232,543
指定管理料	41,177	41,177	41,177	41,177	41,177	205,885
利用料金	2,400	2,448	2,497	2,546	2,597	12,488
その他の収入	2,730	2,782	2,834	2,886	2,938	14,170
支出	46,307	46,407	46,508	46,609	46,712	232,543

別紙

東海道かわさき宿交流館の指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

説明会参加：1 団体

応募団体：2 団体（川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ、東海道創造の街プロジェクト）

2 指定管理者選定評価委員会委員

垣内 恵美子（政策研究大学院大学教授）

犬塚 裕雅（かわさき市民活動センター参事）

新井 努（公認会計士）

川原 晋（首都大学東京教授）

望月 一樹（シルク博物館学芸担当課長）

3 選定理由

選定された団体の提案は、仕様書に則り、第1期の管理運営実績を踏まえた堅実かつ実現性の高いものであるとともに、地域との連携や文化イベントの充実など事業内容についても期待を持てるものであり、次に掲げる事項を総合的に評価して、当該団体を選定した。

(1) 事業目的の達成とサービスの向上への取組

- ・利用促進を図るための新たな展示の検討や地域人材と連携した企画展、インバウンドも意識した文化・芸能体験などの具体的な計画は魅力的である。
- ・自身が運営する文化施設との連携等スケールメリットを活かした文化事業は、本施設に魅力を付加している。

(2) 事業経営計画及び管理経費縮減等への取組

- ・第1期の実績を踏まえた具体的な提案がなされており、安定的・継続的な施設管理が可能であると見込まれる。
- ・事業計画と整合がとれた収支計画となっており、効率的な施設運営と管理経費縮減に対する考え方・方針が明確に示されている。

(3) 申請団体自身についての評価

- ・同種施設の運営実績が豊富であり、財務分析評価も問題はなく、安定的・継続的な管理が可能であると見込まれる。

(4) 申請団体の取組

- ・環境などの社会問題、コンプライアンス及び個人情報保護への認識が、明確に示されている。

4 審査結果（※基準点60点以上）

選定基準	配点	指定管理 予定者	東海道創造の街 プロジェクト
①事業目的の達成とサービスの向上への取組	50点	33.3点	26.2点
②事業経営計画と管理経費縮減等への取組	25点	16.8点	10.5点
③事業の安定性・継続性の確保への取組	10点	6.6点	5.0点
④申請団体自身についての評価	10点	6.8点	3.6点
⑤申請団体の取組	5点	3.1点	2.7点
実績評価点（標準を0点として、加減点）		5点	
合計	100点	71.6点	48.0点

5 提案額

205,885千円（指定期間合計）